



木曽林務課だより 12月号



森林(もり)の里親契約記念式典が開催されました

大同特殊鋼株式会社（本社：名古屋市）と南木曽町は、森林の里親契約を11月1日に締結し、同25日に南木曽町天白町有林で契約記念式典を開催しました。

今年創業100周年を迎えた大同特殊鋼株式会社は、創業者の福沢桃介が木曽川水系で電力開発を進めたことなどから所縁のある南木曽町との契約となり、年100万円の支援金を森林整備のために同町に提供する内容となりました。

式典には、同社の岩本総務部長、向井南木曽町長、増田木曽地方事務所長など総勢100名の関係者が出席し、ハナモモの記念植樹や伐採作業が行われました。

式典終了後、社員の方々は桃介橋を渡り、福沢桃介記念館も訪れ創業者の想いにはせていました。
※森林の里親契約とは、県が行う「森林の里親事業促進事業」により、森林整備に意欲を持った地域と社会貢献に意欲のある企業・団体とが連携して森林づくりを行うための契約です。今回、木曽管内で9件目の契約となりました。



ペレットストーブが稼働しています

今月、1日から木曽合同庁舎のロビーに設置してあるペレットストーブの稼働を始めました。

合同庁舎を訪れる方も足を止めて、ストーブの炎を見つめる姿がよく見受けられます。

燃料として使用している木質ペレットは、県内の間伐材や製材端材などを粉砕・乾燥・圧縮・形成したもので、建築廃材や接着剤は一切使われていない木材100%の安心・安全な固形燃料です。1袋（10kg）540円（参考定価）です。



ストーブの本体価格は、40～50万円前後のものが多いと思いますが、煙突代や工事費等が別途必要になりますので、専門業者にお問合せ下さい。

再生可能エネルギーの利用に関心をお持ちの方、また、優しく温もりのある暖かさが好きな方は合庁にお越しの際には是非ご覧ください。

再生可能エネルギーの利用に関心をお持ちの方、また、優しく温もりのある暖かさが好きな方は合庁にお越しの際には是非ご覧ください。



課長のつぶやき

木曽の山をめぐる暮らし 2

松飾り

年の暮れ、多くのお宅では、12月28日か30日に玄関先に松飾りを飾ります。29日は九（苦）日松と言ってさけ、31日は一夜飾りと言ってこれも嫌います。マツの名前の由来は、神を「待つ木」が語源とされ、松飾りは新しい年神が降りる目印になります。そして、しめ縄は漢字では注連縄と書きますが、意味は「占める」にあり、神聖な年神のいる場所へ邪悪なものを入れないしるしとなるのです。

しかし、木祖村小木曾大久保、柳沢地区では松の代わりに柳を使うお宅があります。昔、ドンド焼きの火でお宮が火事になり、それ以来、柳を飾るようになったといわれます。全国にも別の木を使う松飾りや餅を食べない新年がありますが、面白い習俗です。

平成29年、新しい年はどのお宅へもよい年神様が来ますように。
(松原)